

第0章 はじめに 本日追加

第1章 スマートシティの基本的考え方

1 - 1 . スマートシティに取り組む意義・必要性

市町村の取組意欲を促す、スマートシティの意義、必要性、緊急性等を充実

1 - 2 . スマートシティを通じて提供されるサービス

市町村が抱える課題に対応しスマートシティで何ができるのか、容易に検索可能なサービスの具体事例の充実

第2章 スマートシティの実現に向けて

2 - 1 . スマートシティに取り組む上での原則と基本理念

コンセプト等スマートシティに取り組む上での理念、考え方の充実

2 - 2 . スマートシティの進め方

- 初動段階
- 準備段階
- 計画(戦略)作成検討段階
- 実証～実装段階

初動期に誰のどのようなアクションが必要なのかなど、具体的かつ実践的な市町村の取組内容を充実

2 - 3 . 主なポイントと対応の考え方

- 機能的、機動的な推進主体の構築
- 財政的持続可能性の確保
- 適切なプロジェクトの評価
- 市民の積極的な参画
- 都市OSの導入

スマートシティの社会実装に向けて、障壁となる主な課題を整理し、資金的持続性の確保にかかる多様な方法論など、対応の方向性や先進的取組の充実

0. はじめに

本ガイドブックの目的と、対象とする読者について記載。

○本ガイドブックの目的

スマートシティに取り組む地方公共団体、協議会等の取組を支援するため、先行してスマートシティに取り組む地域における成功・失敗体験等を踏まえつつ、スマートシティの意義・必要性、導入効果、及びその進め方等について、ガイドブックとしてとりまとめるもの。

スマートシティに興味はあるものの、「スマートシティとは何か？どんな効果があるのか？」「まず何を始めたらいいのか？」と躊躇している地方公共団体の首長、職員等に対し、スマートシティの取組にかかる知見、気づきを提供する導入書を目指す。

○本ガイドブックが想定する読者

主に、これからスマートシティの取り組みを始めようとする地方公共団体の首長、職員等を想定するほか、地方公共団体のパートナーとなるべき民間企業・大学等の担当者なども想定。

○本ガイドブックの構成

- ・まず1章にてスマートシティ事業に取り組む背景や目的を整理するとともに、スマートシティによって何ができるかをカタログとして紹介。
- ・次に2章にて、スマートシティに取り組む上で基本的な考え方、実際のスマートシティ事業における検討の手順・プロセスを紹介。さらに、推進体制の構築や持続可能性の確保といった主要な課題についてポイントを絞り、取り組む上で留意点を紹介。